

これを読んでいる君へ

僕は36歳の会社勤めのおじさんです。

22年前僕は、学校に行く事を辞め、家から出る事も辞め、友達もいなくなり、親にもよく怒られ、兄弟とも喧嘩ばかり、僕には誰も味方はいないと思
ってた。

その時を振り返れば、みんなは僕を心配して手を差し伸べてくれるのに僕は
自分で独りになってた。

これを読んでいる君のお父さんお母さんは君の事を心配して今も一生懸命に
色々な事を言ってくれると思う。うるさいとか黙っててと思うけど。でも
君が赤ちゃんの時から君の事を見ていて、心の底から心配している気持ちを
理解してあげて。君の事を一番大事に思っている印だと思う。君自身より君
の事を考えてくれる君にとって大切な人達だと思う。

でも、親の為に自分があるのではなく、自分の為に自分があるということを
忘れないで欲しい。

君は将来どんな仕事をしたい？

君はどんな人と結婚したい？

君は何処に住みたい？

僕は夜間の高校に通い卒業して、大学に入学し社会人になった。
最初は新しい学校でいじめられるかもしれないと不安になった、でも誰もい
じめたり僕が学校に行っていなかったことを気にしてなかったよ。
社会に出て10年以上経つけど、2年間学校に行かなかった事を後悔もしてな
いし、勉強出来なくても仕事は出来てお金は稼げてる。

学校なんて行かなくて大丈夫。

勉強なんて出来なくて大丈夫。

身体が元気なだけで大丈夫。

何かに踏み出してみる勇気があれば大丈夫。

僕が36年生きてて1番辛かったのは学校に行かず2年間孤独だったこと。
それ以降は楽しく生きれたし、他に辛いことがあっても学校に行っていなかっ
た2年間に比べれば楽勝と思えたから大丈夫。

これを読んでいる君は、今は辛いと思うけど、
きっと未来は明るくて楽しいよ。大丈夫。

太郎